



保護者の皆さんへ

～給食費改定に関するお知らせ～

給食費の改定について

＜給食費を改定します＞

食材価格が高騰しており、必要な栄養価等を満たした給食を実施するため、

平成30年9月の給食費から改定させていただきます。

＜改定後の給食費＞

平成30年4月から7月まで…月額4,000円 **1食あたりにすると 234円**



平成30年9月以降…月額4,600円 1食あたりにすると 269円

◆アレルギー等で牛乳を飲まない場合など、上記の月額と異なる場合があります。また、特別支援学校幼稚部・中学部・高等部は、学校・学部により給食費が異なります。詳しくは学校給食費収額決定通知書をご確認ください。

給食費の改定の経緯

- 学校給食は、適切な栄養の摂取による健康の保持増進等を目標としています。
- 本市では、前回平成21年に値上げし、以降給食費は据え置いてきました。
- 平成26年度以降は食材価格が高騰しており、国の定めた必要な栄養価等を維持するために、献立の工夫や食材購入費を抑える調整、横浜市学校給食費調整基金（※）による補てん等の対応を行っています。
- 現状では、エネルギーやたんぱく質の水準を維持するのが精一杯の状況で、さらに基金が平成30年度にはなくなるため補てんもできなくなり、**給食費（食材費に相当する経費）の値上げ**が必要です。

※食材購入費が給食費で賄えない場合や、災害等で給食を中止した際の経費支払いに充てる場合に備えた積立金。

横浜市の目指す給食

専門の委員で構成された横浜市学校保健審議会の答申を踏まえ、本市は、物価高騰前の献立水準を参考に、次のような給食を目指していきます。

- ①栄養価を充足させるだけでなく、様々な食材を幅広く使用します。
- ②給食を楽しみ、おいしく味わうために、品数が多く、いろいろ豊かな献立を提供します。
- ③和食の献立を充実させ、子どもが和食に親しみ、おいしいと感じる献立を提供します。
- ④横浜の食文化への知識を深めるメニューを開発していきます。



給食費改定 Q&A



Q. 物価はどのくらい上がっているの？

A.消費者物価指数は、平成23年を100とすると、「食料」で107.2まで、「生鮮食品」で119.4まで上昇しています。

分類	23年	24年	25年	26年	27年	28年
食料 生鮮食品を含む食料全体	100.0	99.9	99.5	103.1	105.9	107.2
生鮮食品 生鮮魚介、生鮮野菜、生鮮果物	100.0	100.9	100.3	106.5	114.6	119.4

Q. これまでどんな取組みをしてきたの？

A.給食費を値上げせずに栄養価等を維持するため、次のような取組みを行つてまいりました。

- ①安価な食材に変更するなど、**献立内容の調整**を行いました。
- ②物資規格を見直すなどして、入札参加者を増やすことにより、**食材購入費を抑える調整**をしてきました。
- ③横浜市学校給食費調整基金による**食材購入費の補てん**を行いました。

【参考】平成28年度は約2億4千万円、平成29年度は約3億9千万円を食材費として使いました。

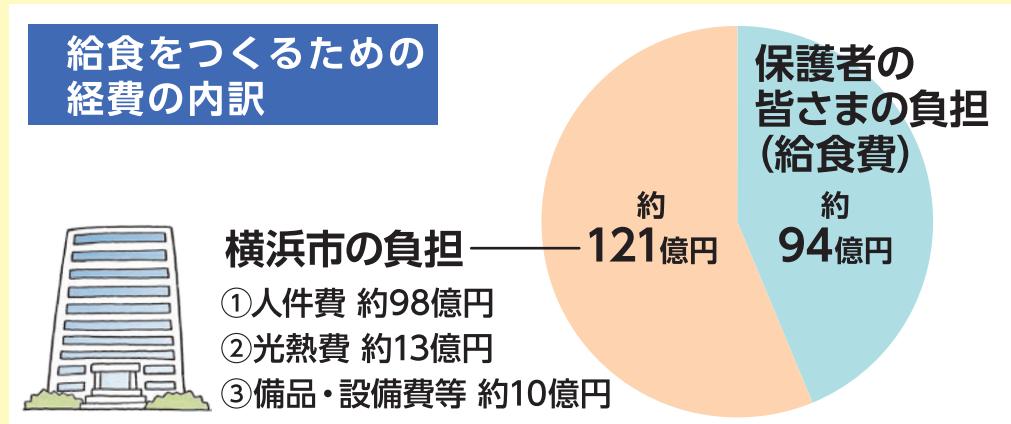
今後も引き続き、食材の質や安全性を落とすことなく安価な調達ができるよう、努めてまいります。

学校給食 Q&A



Q. 給食の費用は誰がどのように負担しているの？

A.学校給食は、学校給食法に基づき実施されています。学校給食の経費負担についても定められており、食材費相当分は保護者の皆さんに、他の経費(施設整備費や人件費等)は、横浜市が負担しています。



Q. もし支払いが難しい場合はどうしたらいいの？

A.横浜市では、お子様を通学させるのに経済的な理由でお困りの方に対して、学校給食費や学用品費等を援助し、お子様の就学を奨励する制度を設けております。援助を希望される方は、「就学援助制度のお知らせ」をお読みのうえ、学校へお申し込みください。

横浜市 就学援助

検索